

第一回中間報告（留学開始時）  
2023年9月12日-10月1日  
（渡英日～オリエンテーションウィーク（授業開始前））

国際ロータリー2710地区  
2023-24年度 地区補助金奨学生  
小林美晴

1. 報告書提出日

2023年10月1日

2. 基本情報

氏名：小林美晴

派遣ホストクラブ/カウンセラー：広島南ロータリークラブ / 山内恭輔様

教育機関：シェフィールド大学 The University of Sheffield

専攻分野：東アジアにおける政治とメディア MA Politics and Media in East Asia

3. 留学先について

シェフィールドについて

シェフィールドは人口規模が58万人でイギリス国内では5番目に大きな都市です。地図で見るとイギリスのほぼ真ん中に位置する北イングランドと呼ばれる地域になります。人口規模でいうと私が大学生活を過ごした愛媛県松山市と変わらないのですが、こちらの方が断然都会だなと感じています。また大きく違う点としてはとにかく丘が険しく、そしてその数も多いということです。毎日山登りをして大学に行っているような気持ちになっています。シェフィールドに住めばジムに行かなくてもいいよねと色々な人が口を揃えて言っているほどです。ただ大学と寮と街が徒歩圏内であることやとにかく人が優しく、また治安もいいところは松山と似ているかな感じています。

天気についてですが、シェフィールドは北に位置しているため気温は他の地域よりも低いです。また天気の変化がかなり大きいです。特に大変だったのは体温調節で、家を出る時は寒いけど歩くうちに暑くなるといったこともよくあるので半袖にコートを着るといった変な格好をするときもたまにあります。日本のように一定の天気でない難しさに直面しています。ただ晴れの日が少ない分、晴れた時に爽快な気持ちになれて数少ない晴れの日により感謝できるようになれるところはイギリスならではのかもしれないと思っています。



天気の良い日の街の中心部

### シェフィールド大学と所属するコースについて

前々からシェフィールド大学は中国人留学生が多いというふうに聞いていたのですが、本当に多いです！ほとんどのコースにおいて中国人留学生が占めているのではないかと思います。私のコースも友人のコースもほぼほぼ中国人学生が占めています。あと大学について驚いたのは施設がとにかく綺麗で勉強のスペースがたくさんあるということです。シェフィールド大学には私が知る限り大きく分けて The Diamond、Information Commons、Western Bank Library という三つの巨大な勉強施設があります。24 時間開いているので朝早くから夜遅くまで勉強し放題です。こんなことで…と思われるかもしれませんが、食べ物も飲み物も基本自由にその場で食べることができるのも本当に助かっています。Western Bank Library という図書館は話すことが禁じられているので、静かなところで勉強したい時に利用し、普段は他の二つに通っています。朝 6 時に起きて 7 時半には勉強を開始するという理想的な生活が実現できて本当に毎日幸せを感じています。



### 住んでいる場所について

学校から近い寮の一つに1年間住むことになっています。トイレとシャワーは個人の部屋についていてキッチンシェアするタイプの寮です。私はフラットには10人が入居予定だったのですが、人数が多ければ多いほどトラブルが多発すると聞いていてビクビクしていました。結果的にはそんな不安も吹き飛んでしまうほど本当にいい人たちばかりでみんな仲がいです。インドから4人、イギリスから3人、中国から1人、私を含め日本から2人という人数構成になっています。みんな綺麗好きなのもあって共有スペースがいつも綺麗です。朝と晩はご飯と一緒に食べることも多く、日々楽しい生活を送ることができています。



インドのバナナチップス



イギリス人フラットのおすすめの  
日本のビール（知りませんでした…）

## 4. 学業面での成果

### オリエンテーションウィーク、受講予定の授業について

MA Politics and Media in East Asia という私のコースは他のマスターのコースよりも開始が一週間ほど遅く、9月中はオリエンテーションウィークでした。10月から本格的に授業開始になるので、イギリスに到着してからは毎日勉強スペースで Reading に励んでいます。

今学期は「International Politics in East Asia」「Media, State and Society in China」「Global Governance and Japan」の三つのモジュールを受講する予定です。外交関係とメディアという二つの視点から日本の役割やその変化を捉えることができそうで始まる前からワクワクしています。また研究手法のクラスの開講もあるのですが、こちらは聴講生として参加ができないかを教授に打診しています。10月からは目まぐるしくもさらに充実した日々が始まりそうです。

## 大学の提供するサービスの活用・教授との再会

大学に到着してコースを受講するための最終的な登録を済ませた後は大学の施設はもちろん提供しているサービスについて徹底的に確認と登録を行いました。どの大学にもあるとは思いますが、301Academic Skills Centre というところに足を運び、アカデミックライティングをはじめとするアカデミックスキルについて学ぶことができるメーリングリストに登録しました。個別のサポートも行なっているみたいだったので、エッセイなどのアドバイスをもらうために利用しようと思います。また English Language Teaching Centre というところもエッセイのチェックを行ってくれるらしいのでそちらも活用していきたいです。他にも図書館が独自で行っているセミナーへの参加や学部の特化した司書さんとの連絡を通して自分が受けることのできるサポート体制を確認しました。本当に学部も大学も手厚いサービスが多いのでこれらに感謝をしつつ全力で活用していきたいと思っています。

また広島で一度お会いしていた Dr Hugo Dobson と再会しました。社会科学系の学部の統括を行なっているような教授とたまたま広島でお会いして仲良くなるという自分自身の運の強さを改めて感じる時間になりました。

## 課外活動への参加

残念ながら受け入れ先のクラブが見つからなかったため、課外活動を通じて何か貢献活動ができないか…！と模索しています。街中に Oxfam を見つけたのでボランティア登録を検討しています。

また先日 Debating Society に参加したのですが、アジア人に限らず留学生がほぼおらず、とんでもないところに来てしまったなと思ったのですが、レベルの高い議論ができるように自分を鍛えることができそうだなと感じたので入会を考えています。またシェフィールドはイギリスで歴史のある Japan Society があるのでこちらにも入会したいと考えています。すでに日本を勉強している学生の何人かとは仲良くなったのですが、Society への入会を通していろんな学生と積極的につながっていききたいです。

## 5. 直面した課題

とてもありがたいことにこれまで課題に何度も直面したにも関わらず、いろんな方に助けていただき生活ができています。実は渡航してシェフィールドに着いたその日にこれまでに経験したことのないピンチに陥りました。渡航してから入寮までの5日間は Airbnb というサービスを利用してお部屋を借りる形で滞在する予定でした。渡航したその日はまだイギリスの携帯会社との通信契約をしていなかったため（本来ならばしておくべきでした…）私の携帯はインターネットが使えない状態でした。何を思ったのか、私は通信できないにも関わらず滞在先にタクシーで行ってしまい、到着してから「え…どうやって家に入ったらいいんだろう」と途方に暮れる始末でした。滞在先は住宅街で周りには人もおらず、天気は

雨。凍えながら私はここでどうなってしまうのだろうと絶望していたのですが、たまたま通りすぎた子供を連れたバングラディッシュのお母さんに携帯を貸してもらえることができ、問題は解決できました。またこれぞ留学先で起こる不思議体験だと思ったのですが、「あなたお腹空いてない？カレー食べる？」と言ってくださり、そのお母さんのご厚意で晩御飯にバングラディッシュのカレーをご馳走していただきました。スパイスカレーは元々大好きなのですが、バングラディッシュカレーは本当に美味しかったです。初めて来た異国の地の寒い空の下で絶望していたのもあっていただいたカレーが体と心に沁みました…。子供が5人いたので彼らには日本のお菓子をあげるととても喜んでくれました。お母さんとは連絡先を交換し、今でも時々連絡をしています。落ち着いたらまた家に遊びにおいでねと言われたので行きたいと思います。



いただいたチキンカレー、野菜カレー、チャパティ（という薄いナンみたいなもの）

初日から波瀾万丈な留學生活のスタートだったのですが、こちらの生活にも二週間ほどでしっかりと慣れてきたため生活面において特に課題に感じることはありません。食事に関しても日本とほぼ変わらない食事ができているなと思っています。また洗濯は一回で£3.3（今のレートでなんと約600円）かかるので手洗いをしています。イギリスは乾燥しているのもあって部屋干しをしても1日で乾いてしまうのでそこまで困っていません。£3.3あればこちらでブドウが1キロも食べることができてしまうので1キロのブドウを想像しながら手洗い洗濯を頑張ろうと思います。移動に関しても渡航前から仲良くなっていたイギリス人の友人のお母さんから自転車を頂いたので毎日快適に移動ができています。ただ丘が険

しいせいで下る時に想像以上にスピードが出てしまうので事故にならないよう十分に気をつけたいと思います。

## 6. 今後の課題・目標

このイギリスでの1日1日は与えていただいたものなのだとことをしっかり意識をして感謝をしながら全力で過ごしていきたいと思います。留学に行くという選択ができて実際に行くことができる人は本当に本当に少ないと思います。私はそうした恵まれた環境にいることを心に留めながらスポンジのようにいろんなことを吸収していこうと思います。改めてこのような機会をくださった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

また、まだ数週間しか経っていないものの、私が日本人であることや日本という国について意識させられることがとても多いです。自国のために何ができるかということを常に考えそのための自分に求められた役割の発見と能力の向上に全力を注ぐ一年にしていきたいと思います。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。



先日伝統的なパブの朝ごはんをいただきました…！  
日本の朝ごはんとの違いに衝撃を受けました…！